

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書8章4～15節＞

1 有名なたとえ話。しかし妙なたとえ話。そこにこの個所の魅力あり！

イエス様がなされた有名な種まきのたとえ話です。しかし、他のたとえ話と違う妙な点が一つあります。たとえ話の説明まで詳しく語られている点です。たとえ話の良さは、読む人が自分に照らし合わせて考える余地が残されている点にあります。ですからこのたとえ話に限っては、イエス様がたとえの説明まで語られた意味を考えることが大事な点です。その答えは、弟子たちがイエス様に問うた質問とそれに対するイエス様の答えから見えて来ます。

2 理解できるのを待ってくださる神！ 神の国の福音の中を生きる！

イエス様は大勢の群衆にはたとえで話され、弟子たちにはおっしゃりたかったことをはっきり話されたのです。それはなぜか？ 主はイザヤ書6章9節の言葉を引用して、『**彼らが見ても見えず、聞いても理解できない**』ようになるためである、と言われていています(10)。これは彼らが見ず理解できないのは神様のせいだという意味ではなく、彼らがそうなることもまた神の御手の中にあることを示す神的予告とも言える表現です。ここから聞き取るべきは何でしょうか？ 先に述べたように、たとえ話とは答えを直接話してそれを受け入れることを求めるものではなく、聞いた者が自らの中で自分に当てはめて思い巡らす余地が残されているものです。イエス様が語られ出した「神の国の福音」(4:18 以下、4:43、8:1)を理解できない人がいても、イエス様もそのイエス様を送って下さった神様も、彼らを裁かれるのではなく待って下さるお方なのです(Ⅱペトロ 3:9)。一方、弟子たちは主が語られることを受けとめ、その上に立って生きていくことを始めた者たちです。だから彼らには大事な答えを語られています、「**良い土地に落ちたのは、立派な善い心で御言葉を聞き、よく守り、忍耐して実を結ぶ人たちである**」(15)と。私たちは、今日、大変な状況の中にあっても、この時間を割き、神様に向かい、そしてこの個所を通して弟子たちと同じこの言葉を聞かせていただいたのです！今朝配信した「日々の御言葉」を読んでおきたいと思います。